

# 伊賀市まちづくりアンケート (市民意識調査) 調査結果

【問い合わせ】 総合政策課 ☎ 22-9620 FAX 22-9672 ✉ sougouseisaku@city.iga.lg.jp



## 伊賀市まちづくりアンケートとは？

このアンケート調査は、第2次伊賀市総合計画第3次基本計画の各施策に対する市民の皆さんの「満足度」、「参画度」などを把握することで、現在行っている施策の分析を行うものです。

市民の皆さんが普段の生活で感じていることを今

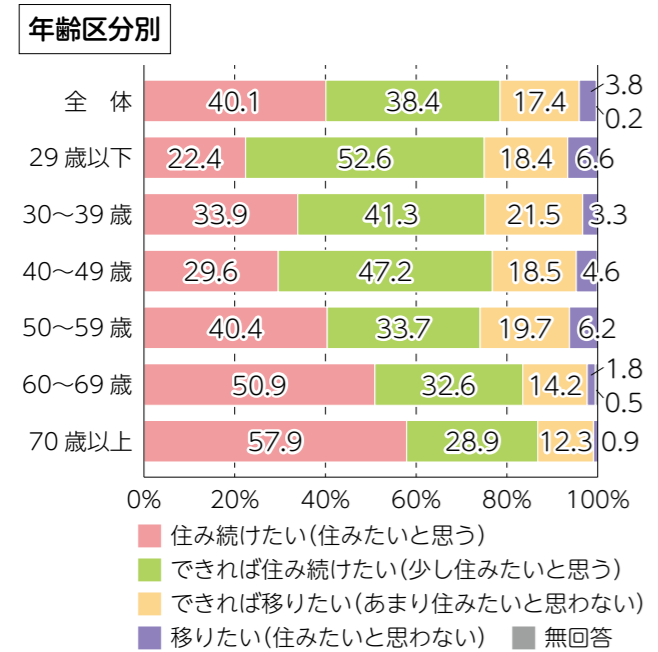
後のまちづくりの参考とします。

【調査対象】 市内在住、在勤、在学、または市外に在住で伊賀市に関わりがある満18歳以上の人

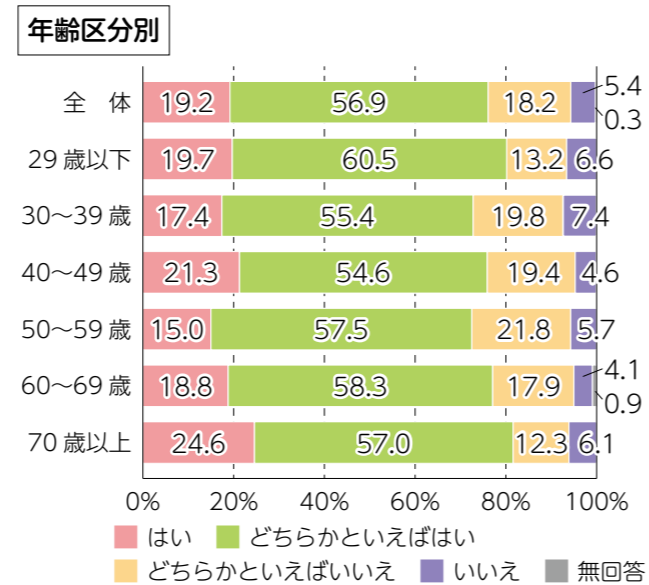
【調査期間】 2月28日～3月15日

【回答者数】 939人

Q. 伊賀市に将来もずっと住み続けたいですか。または、住みたいと思いますか。



Q. 伊賀市は住み心地がよいと思いますか。

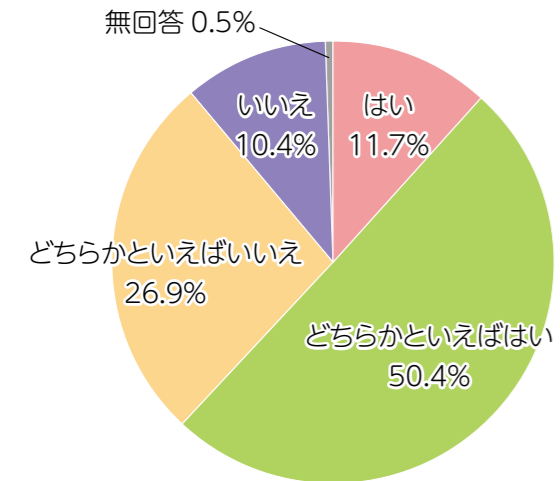


## 定住意識

「伊賀市に将来も住み続けたいか（または、住みたいと思うか）」といった定住意識について、約79%の人が「住み続けたい（住みたいと思う）・できれば住み続けたい（少し住みたいと思う）」と考えており、定住意識が高い結果となっています。また、「伊賀市は住み心地がよいと思うか」という質問については、約76%の人が「住み心地がよい・どちらかといえば住み心地がよい」と感じており、生活しやすいまちだと感じている人が多いことがわかります。

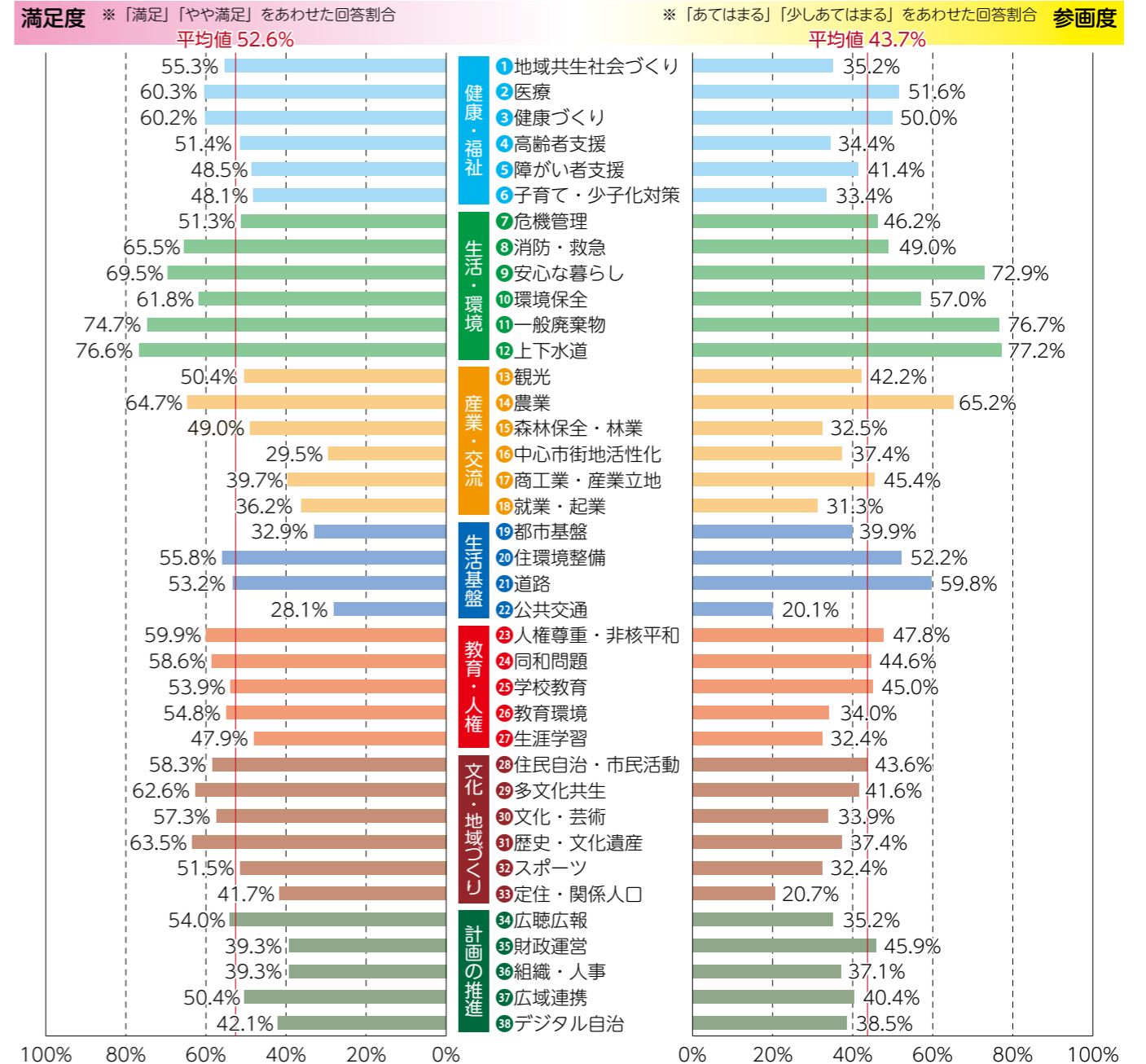
また、年齢区分別の結果では、「住み続けたい（住みたいと思う）」と考える人の割合に注目すると年齢層が低くなるにつれて低い結果となっています。一方、「住み続けたい（住みたいと思う）・できれば住み続けたい（少し住みたいと思う）」と考える人を合わせた割合では、どの年齢層でもおおむね75%を超えており、年齢差は少ない結果となっています。

Q. 地域に愛着や誇りを持てる子どもの育成ができていますか。



## 38 施策の満足度と参画度

第3次基本計画では、効果的に計画を推進するために38の施策を掲げています。



満足度では、「生活・環境」分野が高く、次いで「文化・地域づくり」分野、「教育・人権」分野で比較的高い結果となっています。一方で、「生活基盤」分野の「(22)公共交通」がもっとも低く、分野としては「生活基盤」分野、「産業・交流」分野、「計画の推進」分野が低い結果となっています。

前年調査とは項目が変更になっているため、結果の直接的な比較はできませんが、全体平均では若干の上昇傾向にあります。

参画度も同様に、「生活・環境」分野で高い結果となっています。一方、「文化・地域づくり」分野、「計画の推進」分野では比較的低い結果となっています。全体平均では7.0ポイントの低下となり、参画度の向上に取り組む必要があります。

※まちづくりアンケートの詳しい調査結果は、市ホームページをご覧ください。